

## 令和元年度 秘書広報課の「実行宣言」

作成者 (評価者)	危機管理特命理事	鈴木 政博
--------------	----------	-------

基本方針と使命
<p>市民と行政の情報共有や情報交流を推進し、市民の市政への関心をより高めます。</p> <p>特に、タイムリーで分かりやすい行政情報を提供するとともに、情報通信技術を活用して情報発信の多重化を図るなど、広報活動をより充実し、市民が身近に感じることができる透明性の高い市役所づくりや市政運営への市民参加を促進します。</p>

『松阪市総合計画』 との関わり	7 市民のための市役所
--------------------	-------------

平成30年度の評価			
評価基準…S (100%以上)、A (90~99%)、B (70~89%)、C (50~69%)、D (30~49%)、E (29%以下)			
宣言①	多様な手法で行政情報を発信し、市民のみなさんの声を市政に生かします。	評価	A
<p>【主な理由】</p> <p>松阪市の広報は、より分かりやすく伝わりやすい情報発信をめざし、松阪市の各広報媒体の改善やSNSそれぞれの特色を生かした活用を推進してきました。その中で、「より伝える」ための新たな情報発信として、Instagramの写真を通じ、四季折々の松阪市の風景や文化などを伝えることを始めました。着実にフォロワー数を伸ばし、影響力があるとされる1,000人を3月上旬に達成するなど、行政情報に関心が低い若い世代が、松阪市の広報に興味を持つ一つのきっかけを作ることができました。</p> <p>また、市民との意見交換の場として市内36カ所の小学校の保護者を対象に「市長・教育長と語る会」を開催し、松阪市の子育て支援施策の情報を発信するとともに、子育て世代の課題や教育に対する意見交換を行い、早期の改善や次年度予算に反映することができました。</p>			
<p>【対応方針】</p> <p>松阪市の広報媒体の内容の充実に努め、一定の成果を得ることができました。</p> <p>引き続き、「より市民に伝わる」情報発信の取組を続けていきます。</p>			
部局マネジメント方針			
時代に応じた情報媒体の特性を生かし、積極的に市政情報の発信に取り組みます。		評価	A

【部局長シート】

『松阪市総合計画』関係施策の進捗度										
施策番号		施策名								
関係 施策 1	7 - ②		市民との情報共有							
	指標 ①	評価指標	市ホームページにおける月平均閲覧数							
		目標/実績	平成30年度					令和元年度		
		目標	100,000件	実績	159,772件	評価	S	目標	100,000件	
		対応方針	当該指標については一定水準まで目標を達したため、次期総合計画では新たな指標を設定します。							
	指標 ②	評価指標	出前講座参加者数							
目標/実績		平成30年度					令和元年度			
目標		8,300人	実績	10,812人	評価	S	目標	8,300人		
	対応方針	S評価を維持できるよう引き続き取組を続けます。								



令和元年度 「実行宣言」	
宣言①	多様性社会に適応する情報発信を進め、より広く松阪市の情報を届けます。
部局マネジメント方針	
各年代層がそれぞれ自分に合った媒体で気軽に市政情報が入手できるよう取り組みます。	

【課長シート】

組織名	秘書広報課	作成者（評価者）	課長 浅井 嘉人
関係する「実行宣言」	平成30年度	多様な手法で行政情報を発信し、市民のみなさんの声を市政に生かします。	
	令和元年度	多様性社会に適応する情報発信を進め、より広く松阪市の声を届けます。	
関係する『総合計画』施策	7-① 計画的な行政運営		
	7-② 市民との情報共有		
<b>課の基本方針と使命</b>			
<p>市民と行政の情報共有や情報交流を推進し、市民の市政への関心をより高めます。</p> <p>特に、タイムリーで分かりやすい行政情報を提供するとともに、情報通信技術を活用して情報発信の多重化を図るなど、広報活動をより充実し、市民が身近に感じることができる透明性の高い市役所づくりや市政運営への市民参加を促進します。</p>			

<b>平成30年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）</b>
<p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て世代やシニア世代にも魅力を感じる行政チャンネル番組にするため、時間構成を全体的に見直しすることで、文字放送を減らし新たに「Happybirthday」のコーナーを追加しました。</li> <li>・行政チャンネルの「アイウエーブまつさか」では、認知度と話題性の向上のため、松阪工業高校繊維デザイン科の生徒により「スタジオセット」を一新するとともに市内高校生や市職員アナウンサーを起用し、特色ある番組づくりを行いました。</li> <li>・新たな番組として、後世に残したい街並みや訪れたい地域の魅力を発信していくため“まつさかさんぽ”「I K O K K A」を自治会連合会と共同制作し放送を開始しました。</li> <li>・飯高放送通信センターを民間事業者に無償譲渡することで、維持管理費の削減を実現するとともに飯高地域への安定した視聴サービスを提供することができました。</li> <li>・市民の7.5割にご覧いただいている「広報まつさか」では、より分かりやすく伝わりやすい広報誌をめざし、幅広い年代に読んでいただけるようにレイアウトやデザインなどを工夫し、今年度の三重県広報コンクールでは「特選」を受賞するなど一定の評価を得ることができました。</li> <li>・「市長・教育長と語る会」と題して、市民の声の届く市政を推進していくため市内36小学校単位で、地域に出向き保護者等と子育て支援施策の周知、教育課題等について意見交換会を行いました。</li> <li>・市政バスや出前講座については、近年安定した利用者数で推移しており、市民に定着してきています。</li> </ul>
<p>【達成できなかったこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市政功労等顕彰事業費</li> </ul> <p>各部局より推薦された方や市政に対して高額な寄附をいただいた方から、規則等で定めた一定条件を満たす方を表彰する事業ですが、今年度は目標数に達することができませんでした。</p>



【秘書広報課】事務・事業管理シート（予算事業）

No.	事業名	会計	関係施策	平成30年度				令和元年度							
				予算額（千円）	決算額（千円）	活動指標		方針	予算額（千円）	決算額（千円）	活動指標		方針		
9	広報一般経費	一般	7-②	7,427	/	各部局からの情報提供件数		→ 現状維持	8,136	/	各部局からの情報提供件数		→ 現状維持		
						目標	実績				評価	目標		実績	評価
						1,450件	1,532件				S	1,480件			